



SDA賞は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた我が国で唯一のサインデザインに関する顕彰事業です。今日のサインは、都市空間や企業活動と生活者をつなぐインターフェースとして、即ち環境を活性化し、コミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、その作例は多様な広がりを見せています。そうした概念と手法の広がりに対応して、募集部門を5部門8区分として、新しい評価の視点からクオリティの高いサインデザイン作品を下記の要領で募集します。皆さまの積極的なご応募をお願いいたします。

対象作品

**2013年(平成25年)
5月1日から
2014年(平成26年)
4月30日までの1年間に
完成したサイン。**

応募方法

- ①実物の写真(印画紙または出力によるカラーorモノクロプリント)を使用し、A3サイズで厚み2mm程度(厳守)のイラストボードもしくはスチロールボードに確実に接着してください。ボードのレイアウト方向は縦横自由です。ボードは繋げたり、フレームを付けたりしないでください。
- ②1件の応募につき、ボード枚数に制限はありません。
- ③第1枚目のボード表面には、必ず作品名とデザイン意図(コンセプト)を簡潔に記載してください。ただし応募者名は入れないでください。
- ④ボード表現の補助手段として、60秒程度に収録されたDVDの提出を認めます。パソコンで再生可能な形式で提出してください。音サインなどビデオ撮影時に同時録音された映像媒体については音響効果も審査対象となりますが、撮影後に編集された映像効果音などは審査の対象になりません。
- ⑤ボードおよびDVDケースの裏面には、必要事項を記入した規定の「作品ボードカード」を確実に接着してください。
- ⑥「応募資料票」は規定のものとし、応募内容を正確に受領するためデジタルデータ(テキスト)による入稿をお願いいたします。この「応募資料票」はSDAのホームページ(www.sign.or.jp)からダウンロードできます。入力後は1部出力し作品ボードと共に提出してください。「応募資料票」のデジタルデータ(テキスト)は、メールに添付しSDA(sda@sign.or.jp)に送信してください。
- ⑦応募作品の提出先は、原則としてその作品所在地の地区受付窓口となります。



募集部門

A類：公共サイン部門

駅、空港などの公共交通機関や公園、庁舎、学校、博物館、図書館、病院、発電所などの公共・公益施設に公共の目的で設置されたサインを対象とするもの。

A-1類 単体サイン・小型サイン

公共の目的のため計画され単体で機能を発揮するサイン。

A-2類 システムサイン

名称サイン、案内サイン、誘導サイン、規制サイン、運用サインなどの複数の機能がシステムとして計画されたサイン。地域や公共事業のヴィジュアルアイデンティティ(VI)サインシステム。

B類：商業サイン部門

複合商業施設、ショッピングセンター、百貨店、店舗、金融機関などに商業目的で設置されたサインや、オフィス、企業施設、工場施設のサインを対象とするもの。

B-1類 単体サイン・小型サイン

看板、店舗サイン、のれん、企業サインなど商行為目的のため、おもにエントランス部分に計画され単体で機能を発揮するサイン。

B-2類 システムサイン

名称サイン、案内サイン、誘導サイン、規制サイン、運用サインなどの複数の機能がシステムとして計画されたサイン。広域・多店舗展開のヴィジュアルアイデンティティ(VI)サインシステム。

A

A-1

A-2

B

B-1

B-2

C類：演出サイン部門

広告サイン、メディアサインなどでネオン・LEDエフェクト、照明効果を発揮するサインや、テーマパーク、エキシビションなど造形表現が豊かで演出性・エンターテインメント性の高いサインを対象とするもの。

C-1類 単体サイン

大型ネオンサイン、大型映像サイン、広告塔、ビルボード、ラッピング広告などサイン性の強いものや、モニュメントサイン、ゲートサイン、モール、照明など造形性の高いサイン。

C-2類 システムサイン

テーマパーク、遊園地、スタジアム、エキシビション会場、展示場などの施設で複数のサイン機能がシステムとして計画されたもの。

D類：空間・環境表現サイン部門

公共空間、商業空間、建築空間や交通拠点など、空間や環境、景観そのものがサインとして表現され、明快なメッセージの発信や良好なコミュニケーション機能を発揮しているもの。

E類：研究・開発・実験サイン部門

デジタルサイン(デジタルサイネージ等)

企画技術開発や新技術、新材料、新表現などを活かしたサイン、先進性、将来性をアピールする試み。表示と通信方法に新しいデジタル技術(デジタルサイネージ等)で映像や情報を伝達するサイン。

C

C-1

C-2

D

E

応募料

① 応募料をつぎの通り定めます。ボード1枚ごとに3,000円(審査料含む)とします。ただしボード表現の補助手段としての映像媒体は補助審査料として6,000円が加算されます。

② 応募作品の提出と同時に、下記指定口座へ応募料をお振込のうえ、金融機関の振込控え(コピー可)を「応募資料票」に添えて応募してください。振込控えが無添付の場合、未入金とみなし審査対象となりません。

¥

応募料振込先

りそな銀行
本郷支店
当座575825
公益社団法人
日本サイン
デザイン協会

¥

注意事項

ご応募にあたっては以下の注意事項をあらかじめご確認願います。

❶ 応募作品ボードの作成は実物写真の貼付を原則としますが、実物写真をそのまま利用してデジタル出力したものを作品ボード化することも可とします。ただし現実の作品とは異なり、デジタル加工した虚偽の応募が判明した場合は、審査終了後においても失格処分としその事実は公表いたします。

❷ 「応募資料票」に記載された会社名や個人名などのクレジットは正式なものとして判断し、印刷物や出版物、贈賞時の原稿とさせていただきますのでご了承ください。(英字表記は、読み方の原稿となりますので必ず記載してください)

❸ 贈賞対象で問題を生じ盗作などその事実が確認された場合は、審査終了後といえども贈賞を取り消します。

❹ 応募者は二重応募にならないよう、各関係者の了解を得てご応募ください。

❺ 応募資料は原則として返却いたしません。

❻ 提出資料の著作権、写真使用权、出版権、工業所有権については応募者がその責に任じてください。尚、これらの許諾を得られない場合は、入賞、入選作品であっても作品集や年鑑に記載することができませんので、あらかじめご了承ください。また出版社等が写真版權を所有している写真にはその旨を明記してください。



❼ 受賞者には応募作品ボードの写真のなかから、数点のデータまたはポジをお借りすることになります。

❽ 写真などの応募資料の著作権はその著作者に留保されますが、応募にあたり、資料を後記「年鑑日本の空間デザイン2015」、SDA賞作品集その他の刊行物、展示会に発表、画像データをCD化する権利を主催団体、空間デザイン機構年鑑刊行委員会、(株)六耀社に付与していただきます。また「応募資料票」中、カメラマン欄などにその著作者名の表示がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなします。ついては「応募資料票」の著作権などの処遇ならびに管理は、応募者の責任において行ってください。

❾ 入賞、入選された作品には「応募資料票」に記載されたディレクター、クライアントの方宛に1作品2枚の賞状(無料)が授与されます。賞状作成時期に記載内容の確認書を送付(9月上旬)いたします。その段階で記載内容の変更など申し受けます。

❿ 上記規定賞状以外で追加の賞状を希望される方は、1枚4,000円にて作成いたします。上記確認書の送付時に申込を受付いたします。

⓫ 審査結果速報(7月初旬発表)に記載される応募者名は「応募資料票」の応募責任者(原則1名)となります。

⓬ SDAのホームページ(www.sign.or.jp)に歴代のSDA賞受賞作品を掲載しています。



審査および贈賞

地区審査5月17日(土)各地区
一次審査5月29日(木)札幌市
二次審査6月13日(金)東京都内予定

評価基準

- ❶ 造形性: 作品の美しさ、表現力などの造形力について評価する。
- ❷ 情報性: ユーザーとの関係、意味や効果などの情報計画力を評価する。
- ❸ 先進性: 作品の新しさ、独創性などの先進性について評価する。
- ❹ 社会性: 環境との調和、指導性、社会的意義などについて評価する。

賞の内容

- ★サインデザイン大賞・経済産業大臣賞: 1点
クリスタルトロフィー・賞状
- ★サインデザイン最優秀賞: 各類(小分類含む)
原則 1点(賞状・キューブトロフィー)
- ★サインデザイン優秀賞: 各類(小分類含む)
原則 1点(賞状・キューブトロフィー)
- ★サインデザイン奨励賞: 各類(小分類含む)
原則 1点(賞状)
- ★入選: 各類適宜選定(賞状)
- ★サインデザイン招待審査員賞:
2点(賞状・キューブトロフィー)
- ★SDA学生賞: 適宜選定(賞状)
- ★SDA特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会会長賞: 2点以内(賞状)

*贈賞式は2014年11月下旬(予定)に行います。



二次審査員(予定)

委嘱審査員(順不同、敬称略)

経済産業省商務情報政策局

クリエイティブ産業課デザイン政策室長

青木淳:建築家

下川一哉:日経デザイン編集長



会員審査員(50音順、敬称略)

審査委員長:定村俊満

審査員:井原理安/島津勝弘/廣村正彰/

宮崎桂/宮沢功/横田保生/渡辺太郎

募集締切日

**2014年(平成26年)
5月16日(金)当日、
各地区受付窓口まで
必着のこと。**

(持込みの場合、正午まで受付)



受付窓口

公益社団法人日本サインデザイン協会各地区事務局

●北海道地区(北海道)

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5岩佐ビル3F

ビートスタッフ 内

☎ 011-522-7193

●東北地区(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-7-1

株式会社日の丸ディスプレイ仙台 内

☎ 022-356-6789

●関東地区

(茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県)

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-11池田ビル2F

公益社団法人日本サインデザイン協会 内

☎ 03-3818-8537

●中部地区(富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-2-14

桜屋ビル1F 株式会社レ・プロログ 内

☎ 052-253-8445

●関西地区(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀2-1-9

日本サイン株式会社 内

☎ 06-6533-1033

●中国地区(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園3-26-12

株式会社トモエ 内

☎ 082-874-3175

●四国地区(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

〒760-0061 香川県高松市築地町9-21

有限会社大川原染色本舗 内

☎ 087-821-5769

●九州地区(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)

〒812-0024 福岡県福岡市博多区網場町2-2

福岡第一ビル1階/株式会社ジーエー・タップ 内

☎ 092-291-8801

●沖縄地区(沖縄県)

〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町5-12-22

株式会社タム 内

☎ 098-852-3120

後援(予定)

経済産業省

公益財団法人日本デザイン振興会

日本商工会議所

日本経済新聞社

一般社団法人日本屋外広告業団体連合会

一般社団法人日本空間デザイン協会

一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

一般社団法人日本商環境デザイン協会

公益社団法人全日本ネオン協会

公益社団法人商業施設技術団体連合会

一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会

公益社団法人全日本広告連盟

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会

(順不同)



年鑑掲載

**年鑑日本の
空間デザイン2015**

ディスプレイ・サイン・商環境

- 入選以上の作品は「年鑑日本の空間デザイン2015-ディスプレイ・サイン・商環境」(国内・海外版)に収録されます。
- 年鑑掲載に必要な写真原稿等は、応募者の責任において提出をお願いいたします。
- 年鑑の編集は、公益社団法人日本サインデザイン協会(SDA)、一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)、一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会(NDF)、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)、株式会社六耀社、並びに空間デザイン機構年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。
- 発行予定日:2014年12月

